

新年 あけまして おめでとうございます



皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は、いろいろお世話になりました。本年もよろしく願いいたします。

さて、年頭に当たり一言ご挨拶をさせていただきます。

約3年前のコロナの流行により、本光寺でもさまざまな対策をしてきました。コロナの感染症対策も万全に行い、皆様のご理解のもと、無事に過ごしました。昨今、世間でWITHコロナの考えに沿ってコロナと向き合っていくなか、本光寺でも大祭の復活などの催し物もできる限りやってきた昨年でした。

では、今年は何をどのようにやるかと自問自答してまいりましたが、私自身、なかなか結論が出ない昨年末でした。私の今年の結論は、「温故知新」および「さまざまな整理」を目標に今年は行動したいと思います。

「温故知新」・・・私が住職に就任したのが約30年前の20歳の時です。前住職の祖父が亡くなり、自分でも分からないまま住職に就任しました。通常に開催される大祭なども檀家の皆様のご協力やご指導ご鞭撻のもと、開催をしていました。ただ、参加者は当初より徐々に減っていき、私自身の力不足を感じていました。そんな若輩者の私を応援していただき、盛り上げていただいたのが当時の檀家の皆様だったのです。檀家＝本光寺であるという事を、身をもって感じました。その後、私も住職としての自覚が徐々に身に付き、現在に至っています。檀家の皆様とのご縁は、私にとっては一番大切なものです。

当時の檀家の皆様たちも代変わりなどで、当時を知っている方はほとんどいないのが現状です。新しく引き継がれた檀家の皆様も温かく私を見守っていただいております。お寺と言う独特な世界です

は
ひ
ふ
へ
本光寺
ほんこうじ

第27号

令和5年1月発行

西暦 2023
仏暦 2566
祖暦 801
皇暦 2683

木魚のぼっくん

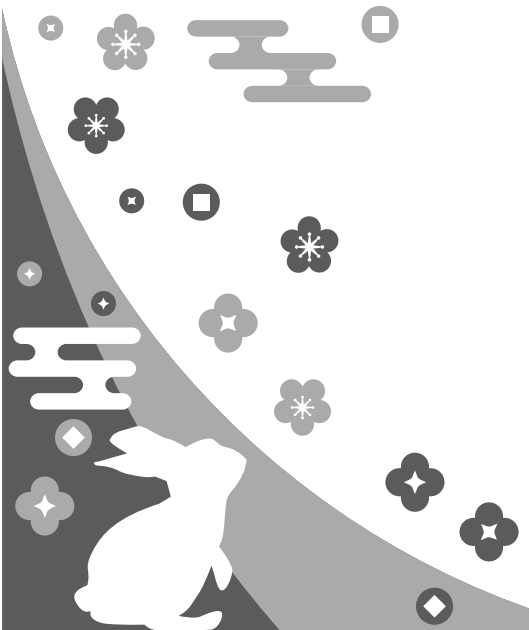


お寺にいる木魚の化身。頭をたたいて「ぼくぼく」と鳴らしている。

ぴかりん住職



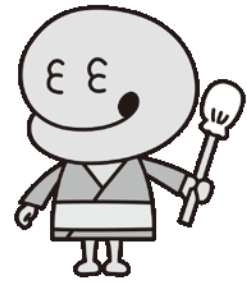
ぼっくんのいるお寺の住職。





が、実情は世間一般と変わらず「少子高齢化」の波がひしひしと感じられております。数年前より、檀家の皆様のご高齢で引継ぎができなくなる前の対策を本光寺としてご提案させていただいております。今後も過去を偲びつつ、現在の方々と絆を大切に、そして次世代の方々にも先祖を敬う気持ちを大切に伝承していこうと思います。

「さまざまな整理」に関しては、コロナ禍にお参りができない方々のためにYOUTUBEで朝参り会や夕参り会を開催してまいりました。コロナで参拝できない方の一つの参加方法としてメディアを使い2年が過ぎ、今年から見直しを始めました。当初は、前述の通りコロナで参拝できない方々のために何か他の参拝方法があるだろうかというなかで取り組みを始めました。今年度よりなお一層充実させるために「特別なメンバー登録をされた方」「護持会会員」の方々に限定して参加（お名前の読み上げ）やチャットでの交流を図るようにしました。本光寺以外の神社仏閣のYOUTUBEをいろいろ見に行きながら散歩している方々よりも、本光寺のファ

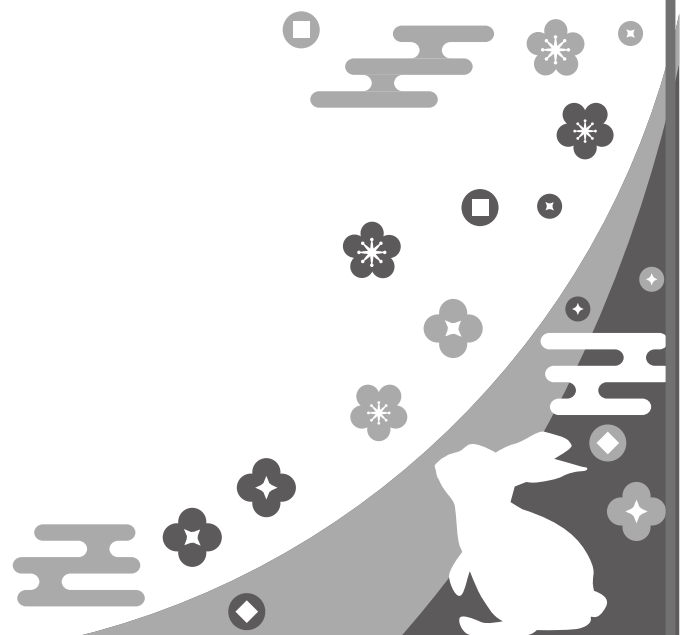


ンの方々の意見を尊重し、本光寺に対しての貴重な意見などを拝聴しようと思います。朝参り会では、檀家会員の皆様のご先祖の供養は毎日行っておりますことを加筆させていただきます。

現在は、護持会会員の方々を、朝参り会・夕参り会でお名前の読み上げをさせていただいております。やはり、本光寺を支えていただけるサポーターとしての護持会会員の方々を優先させていただければと思います。

本光寺を支えていただいているのは、檀家会員の皆様を含めた護持会会員の方々です。私は、まだ修行の身です。本光寺も、本年で662年の歴史を重ねます。その歴史の中のわずか何十年という時間を、私が本光寺を預かり、布教運営させていただいているにすぎません。皆様とともに、これからの未来に向けて、一步一步、歩んでいきたいと思っておりますので、貴重なご意見やご指導・ご鞭撻を必要としております。

本年も本光寺をよろしく願いたします。



本光寺のファンの方へ「もっと知りたい本光寺」

木魚のぼっくんの本光寺探索



本光寺の護持会について

新年あけましておめでとうございます。本光寺で修行している「木魚のぼっくん」です。今年もよろしくお願いたします。

本年初めての僕の説明は本光寺の「護持会」についてです。

本光寺の護持会は、昭和28年創立されました。目的は、本光寺を守り維持していくために生まれた会です。会員になると数々の特典を得ることができるんだって……

- ① 毎朝の朝参り会で護持会会員の方々の先祖の供養をしてもらえます。またオンラインで参拝されている方のお申込で、名前の読み上げをしていただけます。
- ② 本光寺で行っている春夏秋冬の大祭に参加できます。(別途会費が必要です)
- ③ 年6回行われている「信行会」に無料で参加できます。

- ④ 皆さんの悩み相談やご質問などを30分無料で受けることができます(法務などの予定がある場合は、日時を変えてご相談に応じます)

- ⑤ 護持会限定の懐中御守を授与いたします。

こんなにたくさんの特典があります。本光寺の事をもっと知りたい方や本光寺のファンの方などは今年から参加してみたいか、年度途中からの参加も可能です。

あ……忘れていました。会費ですが、月々500円(年1回の先払いになります)年会費6000円ですので、僕とともに、本光寺をより良くしていければ(偉そうでごめんなさい)と思います。詳しくは、寺務所にお問合せください。よろしくお願いたします。

木魚のぼっくんは、本光寺の公式キャラクターなので、忘れないでくださいね。

会員数(令和4年度集計)

檀家会員 173名

水子会員 187名

その他
(信者・一般) 78名

永代会員 819名

ペット会員 126名

Web会員 8025名

令和5年

厄年・八方塞がり・方位除け 早見表「八方塞がり・方位除け」 男女共通（数え年）

卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	午	巳	辰
令和5年 2023 1歳	令和4年 2022 2歳	令和3年 2021 3歳 前厄(男女)	令和2年 2020 4歳 本厄(男女) 方位除け	平成31年 令和元年 2019 5歳 後厄(男女)	平成30年 2018 6歳 方位除け	平成29年 2017 7歳 方位除け	平成28年 2016 8歳	平成27年 2015 9歳	平成26年 2014 10歳 八方塞がり	平成25年 2013 11歳	平成24年 2012 12歳
平成23年 2011 13歳 本厄(男女) 方位除け	平成22年 2010 14歳	平成21年 2009 15歳 方位除け	平成20年 2008 16歳 方位除け	平成19年 2007 17歳	平成18年 2006 18歳 前厄(女)	平成17年 2005 19歳 本厄(女) 八方塞がり	平成16年 2004 20歳 後厄(女)	平成15年 2003 21歳	平成14年 2002 22歳 方位除け	平成13年 2001 23歳	平成12年 2000 24歳 前厄(男) 方位除け
平成11年 1999 25歳 本厄(男) 方位除け	平成10年 1998 26歳 後厄(男)	平成9年 1997 27歳	平成8年 1996 28歳 八方塞がり	平成7年 1995 29歳	平成6年 1994 30歳	平成5年 1993 31歳 方位除け	平成4年 1992 32歳 前厄(女)	平成3年 1991 33歳 本厄(女) 方位除け	平成2年 1990 34歳 後厄(女) 方位除け	昭和64年 平成元年 1989 35歳	昭和63年 1988 36歳 前厄(女)
昭和62年 1987 37歳 本厄(女) 八方塞がり	昭和61年 1986 38歳 後厄(女)	昭和60年 1985 39歳	昭和59年 1984 40歳 方位除け	昭和58年 1983 41歳 前厄(男)	昭和57年 1982 42歳 本厄(男) 方位除け	昭和56年 1981 43歳 後厄(男) 方位除け	昭和55年 1980 44歳	昭和54年 1979 45歳	昭和53年 1978 46歳 八方塞がり	昭和52年 1977 47歳	昭和51年 1976 48歳
昭和50年 1975 49歳 方位除け	昭和49年 1974 50歳	昭和48年 1973 51歳 方位除け	昭和47年 1972 52歳 方位除け	昭和46年 1971 53歳	昭和45年 1970 54歳	昭和44年 1969 55歳 八方塞がり	昭和43年 1968 56歳	昭和42年 1967 57歳	昭和41年 1966 58歳 方位除け	昭和40年 1965 59歳	昭和39年 1964 60歳 前厄(男女) 方位除け
昭和38年 1963 61歳 本厄(男女) 方位除け	昭和37年 1962 62歳 後厄(男女)	昭和36年 1961 63歳	昭和35年 1960 64歳 八方塞がり	昭和34年 1959 65歳	昭和33年 1958 66歳	昭和32年 1957 67歳 方位除け	昭和31年 1956 68歳	昭和30年 1955 69歳 方位除け	昭和29年 1954 70歳 方位除け	昭和28年 1953 71歳	昭和27年 1952 72歳

- 長寿祝い -

還暦 (かんれき) 61歳 (満60歳) 古希 (こき) 70歳 喜寿 (きじゅ) 77歳 傘寿 (さんじゅ) 80歳
 米寿 (べいじゅ) 88歳 卒寿 (そつじゅ) 90歳 白寿 (はくじゅ) 99歳 百寿 (ひゃくじゅ) 100歳
 茶寿 (ちゃじゅ) 108歳 皇寿 (こうじゅ) 111歳 大還暦 (だいかんれき) 120歳

編集後記

今回は、新年号という事で、私の考え方を皆様に再度お伝え出来たかと思いましたが、まだまだお伝え出来なかったことも多々ありました。

私の基本の考え方は「お寺の垣根をなくしたい」です。

その考え方を、あれもこれも伝えたいという気持ちが前に出てしまい、結局、言いたいことが伝えられていない日々を過ごしてきましたが、本年からは、一つ一つを大切に、一歩ずつ前に進んでいきたいと思えます。

挨拶にも書かせていただきましたが、662年と言う年月は、非常に長いと感じられますが、一日一日の積み重ねが662年の歴史になっているのを、改めて、実感させられました。

「はひふへ本光寺」も。進化させていきますので、ご期待ください。

合掌

35世住職 尾藤宏明